Lagrange の乗数法

条件付極値問題

拘束条件 $g(x,y)=0$ の下で，関数 $f(x,y)$ の極値を求めたい．このとき，新たに第 3 の変数 λ を導入し，3 変数関数 $L(x,y,\lambda)$ を

$$L(x,y,\lambda)=f(x,y)-\lambda g(x,y)$$

と定義する．（λ は Lagrange の乗数と呼ばれ $L(x,y,\lambda)$ は Lagrange 関数と呼ばれる．）このとき，$L(x,y,\lambda)$ の（無条件での）極値を求めると，$g(x,y)=0$ の下での $f(x,y)$ の極値が求まることが知られている．したがって，極値を求めるには

$$\begin{cases} \dfrac{\partial L}{\partial x}(x,y,\lambda)=\dfrac{\partial f}{\partial x}(x,y)-\lambda\dfrac{\partial g}{\partial x}(x,y)=0 \\ \dfrac{\partial L}{\partial y}(x,y,\lambda)=\dfrac{\partial f}{\partial y}(x,y)-\lambda\dfrac{\partial g}{\partial y}(x,y)=0 \\ \dfrac{\partial L}{\partial \lambda}(x,y,\lambda)=g(x,y)=0 \end{cases}$$

を解けばよい.

例題　直線 $lx+my=n$ 上の点と 原点 O との距離の最小値を求めよ.

解　拘束条件 $g(x,y)=lx+my-n=0$ の下で距離の 2 乗 $f(x,y)=x^2+y^2$ の最小値を求めればよい．そこで $L(x,y,z)=x^2+y^2-\lambda(lx+my-n)$ とおき，偏微分を計算する.

$$\begin{cases} \dfrac{\partial L}{\partial x}(x,y,\lambda)=2x-\lambda l=0 \\ \dfrac{\partial L}{\partial y}(x,y,\lambda)=2y-\lambda m=0 \\ \dfrac{\partial L}{\partial \lambda}(x,y,\lambda)=lx+my-n=0 \end{cases}$$

第 1 式を λ について解き，第 2 式に代入して整理すると

$$mx-ly=0$$

が得られる．これと第 3 式を x,y についての連立 1 次方程式と見て解くと

$$x=\frac{ln}{l^2+m^2},\qquad y=\frac{mn}{l^2+m^2}$$

を得る．本来，このままではこの x,y で $f(x,y)$ が極小になるか極大になるかは機械的に判断できないが，この問題では図形的に容易に最小値だけが存在し，最大値が存在しないことがわかる. そこで，上の値を $f(x,y)$ に代入して，$f(x,y)$ の最小値は $\dfrac{n^2}{l^2+m^2}$ となる．したがって距離の最小値は $\dfrac{|n|}{\sqrt{l^2+m^2}}$.

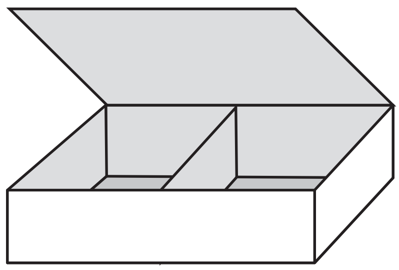
【裏につづく】

$\boxed{1}$ 条件 $x^2 + 2xy + 4y^2 = 1$ のもとで，$f(x, y) = xy$ の最大値と最小値を求めよ．

$\boxed{2}$ 【効用最大化問題】消費者の効用関数が $u(x, y) = x^{\alpha} y^{\beta}$ で与えられているとする．このとき，所得制約式 $p_1 x + p_2 y = I$ のもとで $u(x, y)$ を最大にする (x, y) を Lagrange の乗数法により求めよ．

$\boxed{3}$ 【費用最小化問題】消費者の効用関数 $u(x, y) = x^{\alpha} y^{\beta}$ をある一定レベル u_0 に保ち，この効用レベルで支出 $S(x, y) = p_1 x + p_2 y$ を最小にしたい．そのような (x, y) を Lagrange の乗数法により求めよ．

$\boxed{4}$ 厚紙を用いて図のような中仕切りがあるふたつきの箱をつくる．使用する厚紙の面積が一定値 S であるとき，容積 V が最大になるような箱の寸法を求めよ．またその時の箱の容積を求めよ．



2012 年 11 月 14 日